

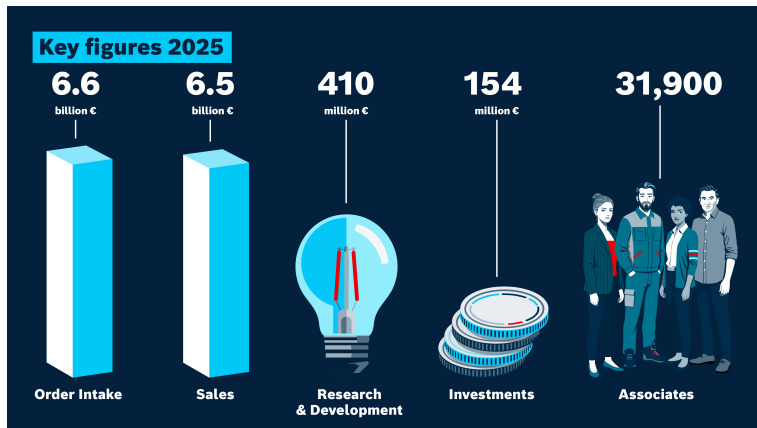
PRESS INFORMATION

ボッシュ レックスロスは2025年の売上高は安定、2026年は成長の見通し

Jan Saeger | 2026/04/21 | ロア・アム・マイン (ドイツ)

変動の激しい事業環境と高いコスト圧力が依然として課題に

- 売上高は64億5,000万ユーロで、前年比 1.4%減
- 受注高は約9%増加
- 2025年末の受注高が売上高を上回るのは、2022年以来初めて
- 投資および研究開発に約5億6,000万ユーロを投じ、将来の成長を支援
- 競争力を強化するためのコスト調整
- 成長見通しは今後の地政学的緊張の激化次第



2025年ボッシュ レックスロス経営指標 (写真出典: ボッシュ レックスロス)

ロア・アム・マイン – 2025会計年度において、ボッシュ レックスロスは約65億ユーロの売上高を計上しました。当社は依然として困難な環境にもかかわらず、前年度と同水準の業績を維持することに成功しました。受注高は大幅な成長を遂げ、約9%増の約66億ユーロとなり、2022年以来初めて売上高を上回りました。ボッシュ レックスロスは、地政学的な状況がさらに悪化しないことを条件に、今会計年度はわずかな成長を見込んでいます。将来の成長を確実にするため、ボッシュ レックスロスは約5億6,000万ユーロを研究開発や建物・施設に投資しました。2025年末時点で、当社の従業員数は世界全体でおよそ31,900名でした。

「経済および地政学的な環境は、お客様にとっても、当社にとっても依然として課題となっています。さらに、アジアの競合他社が国内市場に進出しています。そのため、イノベーション、顧客との密接な関係、適応力、そしてコスト意識は、今後もボッシュ レックスロスにとって重要な成功要因であり続けるでしょう」と、2026年3月よりボッシュ レックスロスAGのCEOを務めるヨッヘン・ペーター(Jochen Peter)博士は述べています。ボッシュ レックスロスは、例えば、中国事業の再編や日本での事業強化を進め、お客様のニーズに合わせて商品ポートフォリオを継続的に適合させています。受注高に対して売上高が下回る状況が約2年間続きましたが、この比率は改善しました。「2025年、そして今年もこれまでのところ、再び受注を伸ばすことができました。現在の地政学的課題が事業にさらに大きな影響を及ぼさない限り、将来に向けて慎重な楽観的な見方をしています」とヨッヘン・ペーター(Jochen Peter)博士は続けます。

中国事業により、総売上高は安定

売上高は64億5,000万ユーロとなり、前年(2024年は65億4,000万ユーロ)をわずかに1.4%下回ったに過ぎず、特に好調だった2022年および2023年(それぞれ70億ユーロ、75億ユーロ)と比べると、やや低い水準で安定しています。為替の影響を除くと、売上高は0.9%増となりました。欧州(ドイツを除く)およびア

PRESS INFORMATION

アジア・アフリカ・オーストラリア地域では、前年比でわずかな成長を記録しました。売上高において当社の最大の市場であるドイツでは、2025年の売上高は前年比でわずかに減少しました。売上高で第3位の市場である中国の成長は、全体的な売上高の安定化に大きく貢献しました。

受注約9%増加

2025年の受注高は66億ユーロで、前年比で約5億4,000万ユーロ、8.9%増となりました。中国では、受注の伸びが最も顕著でした。また、欧州およびドイツでも、受注高が大幅に増加しました。

2026年の見通し：成長が焦点、依然として厳しい状況が続く

「2026年度は順調なスタートを切りました。昨年と同様、これまでの受注高は前年を上回っており、売上もそれに伴い、慎重ながらも増加しています。とはいえ、世界的なビジネス環境は依然として不安定であり、コスト面での圧力も高まっています。そのため、当社はコスト削減、市場志向の体制構築、そしてお客様に向けた製品・ソリューションの提供に継続して取り組んでおります」と、ボッシュ レックスロス AG の CFO であるホルガー・フォン・ヘーベル (Holger von Hebel) 氏は述べています。

拠点、研究開発への大規模な投資

製品およびソリューション・ポートフォリオの将来的な持続可能性を確保するため、機械、設備、建物、ならびに研究開発に約5億6,000万ユーロを投資しました。過去3年間、工場や製造ネットワーク全体に対してすでに大規模な投資が行われてきたため、事業が回復した際には、世界中で十分な生産能力を確保できる見込みです。ドイツでは、ボッシュ レックスロスはロア・アム・マイン、エルヒンゲン、ニュルンベルク、ホルブの工場のみで約5,700万ユーロを投資しました。さらに、メキシコ、米国、スウェーデンにおいて大規模な投資が行われました。

効率性、安全性、そして持続可能性の向上に向けたイノベーション

2025年度、ボッシュ レックスロスは数多くの革新的な製品により、製品ポートフォリオをさらに強化しました。例えば、建設機械・農業機械向けの油圧システムにおいて、新型MPR Performanceラジアルピストンモータは、コンパクトな作業機械の生産性とエネルギー効率を向上させ、ORC2高性能コンピュータは、モバイル式機械における自律機能を実現するためのシステム要件を構築します。ctrlX AUTOMATIONプラットフォームは、AI機能の追加とctrlX COREplusコントローラーの演算能力の向上により、さらに強化されました。マシン群の脆弱性をチェックするセキュリティスキャナなどの新しいアプリも、オープンオペレーティングシステムのctrlX OSを補完します。油圧サービス分野において、「Hydraulic Hub」が導入されました。これは、メンテナンス作業を簡素化し、機械の可用性を高めるデジタルツールボックスです。

人員構成の適切な調整

2025年末にボッシュ レックスロスの全世界の従業員数は、約31,900名でした。これは前年比で約700人、2.3%の減少に相当します。ボッシュ レックスロスの全従業員のうち、約13,200人 (41%) がドイツで勤務しています。

ハノーバーメッセにおけるボッシュ レックスロス

現在開催中のハノーバーメッセにおいて、ボッシュ レックスロスは新たなコンセプトを展示しています。新設された「防衛生産エリア」において、当社は民生技術と防衛技術の両方の生産に活用できる製造技術を示しています。さらに、ボッシュ レックスロスは、「アプリケーションパーク」において、バッテリーの製造とリサイクルに関する展示を行うほか、Fluid 4.0研究プロジェクトの一環として、ドイツ連邦経済・エネルギー省の「インダストリー4.0プラットフォーム」の共同ブースにも出展しています。このアプローチにより、ボッシュ レックスロスはハノーバーメッセにおいて、従来よりもはるかに業界に特化した形で、顧客および関係者にアピールしてまいります。

ボッシュ レックスロスは、ボッシュ グループの一員となって25年

2001年5月、ボッシュ オートメーション テクノロジーはマンネスマン レックスロスと合併しました。それ以来、ボッシュ レックスロスは25年にわたり、ボッシュ グループの成功と、各事業部門間のよりバランスの取れた収益配分に貢献してきました。「多くの変化があったにもかかわらず、長年にわたり変わらぬものがあります。それは、ボッシュ レックスロスのチームが顧客に対するたゆまぬコミットメント、卓越した技術的専門知識、そして当社の製品に対する情熱です」と、2月末までボッシュ レックスロス AG の CEO を務め、現在は取締役会メンバーとしてエンジニアリング活動および新たな戦略的成長分野の特定を担当しているステファン・ハーク (Steffen Haack) 博士は述べています。当社は、1795年にルートヴィヒ レックスロスから始まる230年以上にわたる歴史を有しています。

PRESS INFORMATION

基本情報 - ボッシュ レックスロス

ボッシュ レックスロスは、駆動および制御技術のリーディングサプライヤーとして、あらゆる規模の機械およびシステムの効率的、強力かつ安全な動作を保証します。同社は、建設機械アプリケーション、産業用アプリケーションおよびエンジニアリング、ファクトリーオートメーションの市場分野に、グローバルなアプリケーション規模での様々なアプリケーション経験を持ち合わせています。ボッシュ レックスロスは、インテリジェントなコンポーネント、カスタマイズされたシステムソリューション、エンジニアリング、サービスにより、IoTのアプリケーションに必要な環境を構築しています。ボッシュ レックスロスは、油圧システム、エレクトリックドライブおよびコントロール技術、ギアテクノロジー、リニアモーションおよびアセンブリテクノロジー、IoT向けソフトウェアやインターフェイスをお客様に提供しています。80か国以上に拠点を置き、約31,900名の従業員が在籍、2025年度の売上実績は65億ユーロです。

基本情報 - ボッシュ

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2024年の従業員数は約41万8,000人（2024年12月31日現在）、売上高は903億ユーロ（約14.8兆円*）を計上しています。ボッシュはモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4つの事業領域を展開しています。事業を通じて、自動化、電動化、デジタイゼーション、ネットワーク化、持続可能性の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することを目指しています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化とAIに関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbHとその子会社490社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売 / サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界136の拠点で約8万7,000人の従業員が研究開発に携わっています。

*2024年の為替平均レート、1ユーロ = 163.8354円で計算

プレスお問い合わせ

プレスお問い合わせまでご連絡ください



Jan Saeger

企業広報担当

+49 9352 182288

jan.saeger@boschrexroth.de